

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県 鳳間浦村

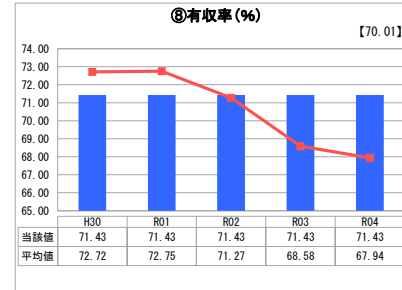
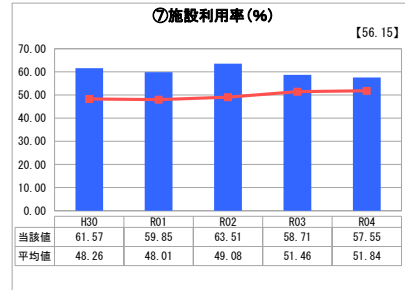
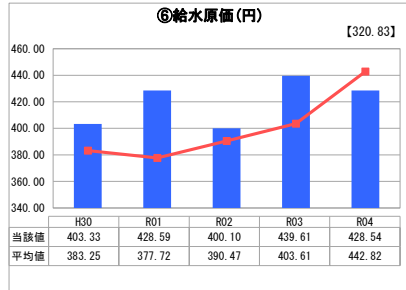
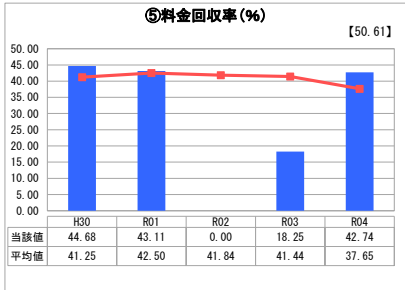
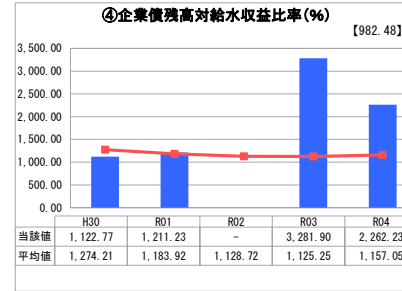
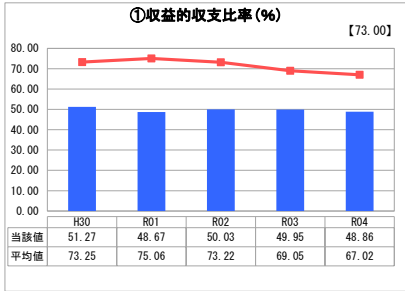
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	99.94	3,355	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,690	69.46	24.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
1,653	3.10	533.23

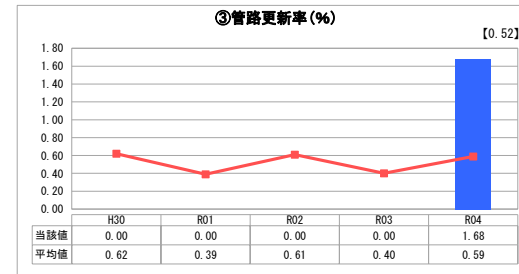
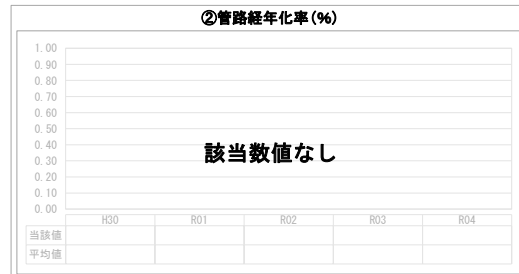
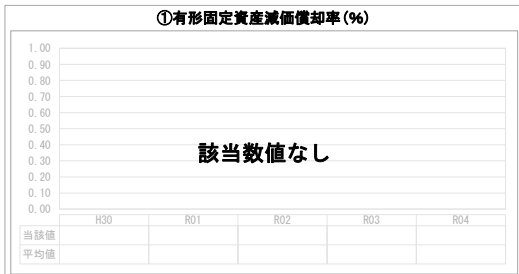
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

企業債務高対給水収益比率については、令和2年度から着手している浄水場改修工事及び新設された道路に配水管の布設工事を実施したことによる地方債償還である。
 料金回収率については、令和3年度の豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響を受け、水道料金の一部及び全額の免除を行っていたが、令和4年度は通常の水道料金に戻ったため、料金回収率が増加している。
 給水原価は、浄水場改修事業費等はあるが、前年度に比べて事業費が下がっていることから減額となっている。

2. 老朽化の状況について

管路更新については、老朽化や外部からの衝撃に耐えられなくなったと思われる漏水が多発しており、点検診断等を行いつつ、計画的に老朽化対策を実施する必要がある。
 また、新設された道路に配水管の布設工事を行ったため管路更新率が増加した。

全体総括

毎年、給水人口が減少していることから給水収益の低下や施設の老朽化等による維持管理費の増加が課題となっている。
 常に安定した水を供給するためには、施設や管路の更新をしなければならない。
 そのためには、料金改定や効率的な維持管理及び計画的な設備投資について、随時、検討していく必要がある。